

第 11 回宇宙科学・探査部会 議事要旨

1. 日時：平成 26 年 5 月 9 日（金） 10：00－12：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

（1）委員

松井部会長、薬師寺部会長代理、家森委員、小野田委員、櫻井委員、田近委員、永原委員、山川委員、山崎委員

（2）事務局

中村宇宙戦略室審議官、深井宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

（1）国際宇宙探査について

事務局から、資料 1、2 について説明があった。その後、宇宙航空研究開発機構（JAXA）から、資料 3、4 について説明があった。説明の後、以下のような意見があった。

○JAXA では、国際宇宙探査について、トップダウン的に検討される場合と、ボトムアップで検討される場合があるが、これを、宇宙科学研究所（ISAS）の宇宙理学委員会及び宇宙工学委員会でしっかり議論していくような体制が必要ではないか。

○新たな宇宙探査の取り組みを進めるためには、それが他を圧迫しないよう、宇宙予算全体を増やしていくことが必要ではないか。

○国際宇宙探査の各参加国の思惑や意図も把握した上で議論を進めることが必要ではないか。

国際宇宙探査については、引き続き議論していくこととなった。

（2）「平成 27 年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」に対する宇宙科学・探査部会の意見について

事務局から、資料 5、6、7 ついて説明があった。説明の後、以下のような意見があった。

○既存のプロジェクトを着実に推進する旨明記すべきである。

○宇宙科学・探査ロードマップを前提とした新たな取り組みについても念頭に置くべきである。

「平成 27 年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」に対する宇宙科学・探査部会の意見については、次回の宇宙科学・探査部会で引き続き審議を行うこととなった。

以 上